

8 保育福祉科 夜間主コース トワイライトクラス 2年次

	講 義 名	開講時期・単位数	
		前 期	後 期
保育士養成課程 教 養 科 目	英語コミュニケーション		2
	日本国憲法		2
	児童文学		2
	情報機器の操作		2
保育士養成課程 必 修 科 目	相談援助	1	
	保育者論		2
	家庭支援論	2	
	保育内容演習・健康	1	
	保育内容演習・人間関係	1	
	保育内容演習・環境	1	
	保育内容演習・言葉	1	
	保育内容演習・表現	1	
	障害児保育	2	
	保育相談支援		1
	保育実践演習		2
保育士養成課程 選 択 必 修 科 目	教育史		2
	保育臨床心理学		2
	子どもの食と栄養実習	1	
	児童文化		2
	保育あそび論		2
	絵画造形技法	1	
	保育表現技術・幼児体育Ⅱ		1
	保育表現技術・ピアノⅢ	1	
	保育表現技術・声楽		1
保育実習指導Ⅱ又はⅢ	1		
	キャリアデザイン		1
	クラスルームⅡ		1
実 習	保育実習Ⅰ-1		2
	保育実習Ⅰ-2		2
	保育実習Ⅱ又はⅢ		2
合 計 単 位 数		14	31
		45	

科 目	英語コミュニケーション	講 師	金藤 明美
授業目標	<p>この授業では、保育現場でも使える英語（活動）を取り入れた構成となっています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育現場において、子供たちの生活言語に合わせた英語表現を学び、訓練する。 ・英語の歌やチャンツ、また絵本に慣れ親しむ。 ・子供と楽しめる英語を使ったアクティビティを体験、体得する。 ・簡単な挨拶と初対面を想定した会話内容を学んだ後、各自がカスタマイズする。 ・指導者として知っておくべき有意義な情報のシェア 		
授 業 の 画	<p>情報・知識のシェア</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 「英語教育の現状」「コミュニケーションKeys」 2. 「保育英検について」 3. 「小学校英語活動について」 4. 「カナダで活躍する日本人保育士」 5. 「ケアギバー&ナニー」 6. 「マルチプルインテリジェンス」 7. 「ハローウインの由来」 8. 「小テスト①」 9. 「日本語と英語の発音」 10. 「フォニックスで発音意識」 11. 「カタカナ英語の改善」 12. 「絵本の読み聞かせ」 13. 「口頭試験」 14. 「筆記試験」 15. 「絵本の読み聞かせ大会」 	<p>英語活動内容</p> <p>Song① 英語表現（励ます言葉）</p> <p>Song② 英語表現（身の回り） 絵本①</p> <p>Song③ 英語表現（褒め言葉+身の回り） 絵本②</p> <p>Song④ 英語活動 絵本③</p> <p>Song⑤ 英語表現（外遊び編） 絵本④</p> <p>Song⑥ 英語表現（初対面） 絵本⑤</p> <p>Song⑦ 英語表現（初対面） 絵本⑥</p> <p>Song⑧ 英語表現（初対面）</p> <p>Song⑨ 英語表現（トイレ編） 絵本⑦</p> <p>Song⑩ 英語表現（食事編） 英語活動（動作動詞）</p> <p>Song⑪ 英語活動（動作動詞&初対面） 絵本⑧</p> <p>Song⑫ 英語活動（動作動詞&初対面）</p>	
教科書 及び 参考書	<p>教科書……指定教科書はなし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	出席・小テスト・最終試験【実技&筆記】・絵本読み聞かせ		

科 目	日本国憲法	講 師	小関 康平
授業目標	<p>授業内容は、最高裁判例・学界通説を基軸とした日本の現行憲法（日本国憲法）の解釈論が中心となる。授業は、原則として講述（講義）の形式によって行われるが、学生諸君の準備学修や前提知識の程度が高い場合などには、ソクラテス・メソッド（教員と学生との対話）によって進行させることがある。</p> <p>本科目の学修は、経験的にいって、学生諸君にとって極めて負担の大きいものになることが予測されるので、毎回の講義に際しては十分な予習・復習のうえ真剣に取り組むことが強く求められよう。本科目は、最終的には、主要なテーマについて重要な憲法学的知見（基本概念や判例・学説など）を論述できるようになることを目標に据えている。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス及びイントロダクション 2. 法学入門 3. 憲法総論1（憲法の意味と分類；欧米国制史・憲法史①） 4. 憲法総論2（欧米国制史・憲法史②；日本憲法史） 5. 基本権総論（基本権享有主体性；私人間適用〔第三者効力〕） 6. 基本権各論1（自由権〔特に精神的自由権を中心に〕①） 7. 基本権各論2（自由権〔特に精神的自由権を中心に〕②） 8. 中間総括 9. 基本権各論3（社会権①） 10. 基本権各論4（社会権②；その他の個別的基本権及び包括的基本権①） 11. 基本権各論5（その他の個別的基本権及び包括的基本権②） 12. 統治機構論（統治機構論のうち学生の希望するテーマを講ずる） 13. 全体総括1（半期間の学修を振り返る） 14. 全体総括2（学修定着度をみるため期末試験を実施する） 15. 全体総括3（期末試験の答案について講評する） 		
教科書 及び 参考書	<p>指定教科書を定めるか否かについては未定。初回講義時に必要事項を案内する。参考書は、体系書としては、芦部信喜『憲法』（岩波書店）、野中俊彦ほか『憲法Ⅰ・Ⅱ』（有斐閣）、池田実『憲法』（嵯峨野書院）などを、判例集としては、『憲法判例百選Ⅰ・Ⅱ』（有斐閣）などを推奨する。</p>		
評 価 の 方 法	<p>原則として主に論述問題で構成される期末試験の評点のみに基づいて評価する。なお、補足的に、平常点を考慮することがありうる。</p>		

科 目	児童文学	講 師	川北 亮司
授業目標	*ことばについての理解を深める。 *絵本や童話を学ぶ。 *幼児・幼年向けの作品を知る。 *手づくり絵本を制作する。		
授 業 の 画 計	1. 授業内容と進行の説明 2. 子どもと児童文学 3. いろいろな絵本 4. 手づくり絵本の制作(1) 手づくり絵本とは 5. 絵本の構造(1) 名称など 6. 手づくり絵本の制作(2) コピー用紙でダミー作り 7. 絵本の構造(2) 中身について 8. 手づくり絵本の制作(3) 画用紙に描く 9. 絵本の構造(3) 表紙の厚紙とカバー、見返し 10. 手づくり絵本の制作(4) 画用紙に描く 11. 手づくり絵本の制作(5) 画用紙に描く 12. 手づくり絵本の制作(6) 製本 13. 手づくり絵本の制作(7) 製本 14. 手づくり絵本の発表会 (リブリオ・バトル) 15. まとめ		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし 参考書……特に指定なし		
評 価 の 方 法	総合評価		

科 目	情報機器の操作	講 師	鹿野 晴美
授業目標	この授業では、幼児教育者が必要とされる情報の基礎知識を学びます。 実習中心に授業を行います。単に技能を習得するのではなく、正しく情報機器を利用する能力と情報を扱う力を育むことを目的とします。 ペアで演習を行いますので、協調して作業することが要求されます。 (授業の進み具合によって下記の内容や順番が変更になる場合もあります。)		
授 業 の 画 計	1. オリエンテーション 2. WWWと電子メール 3. コンピュータの仕組み 4. 情報と社会 5. 画像のデジタル表現 6. 文書作成1 7. 文書作成2 8. 文書作成3 9. プレゼンテーション 10. プレゼンテーション (作成) 11. プレゼンテーション (発表) 12. 表計算1 13. 表計算2 14. 表計算3 15. プログラムの基礎		
教科書 及び 参考書	教科書……特に指定なし、適宜資料を配布します。 参考書……『小学生からはじめるわくわくプログラミング2』倉本大資著 日経BP社		
評 価 の 方 法	小テスト・課題・平常点 (授業態度・出欠等) で評価します。		

科 目	相談援助	講 師	荒谷 純子
授業目標	援助者として相談場面における技術を学ぶとともに、相談者理解の視点を修習する。 1. 相談援助の意義を学ぶ 2. 自己理解、他者理解を深める 3. 相談援助に必要な技法を学ぶ		
授 業 の 画	1. オリエンテーション 2. 自己覚知 演習① 3. 自己覚知 演習② 4. 自他の価値観① 5. 自他の価値観② 6. 非言語的コミュニケーションの体験 7. コミュニケーション技術の習得 8. バイステック7原則を学ぶ 9. 面接過程を学ぶ 10. 面接技法を学ぶ 演習① 11. 面接技法を学ぶ 演習② 12. 事例検討① 13. 事例検討② 14. まとめ 15. 試験		
教科書 及び 参考書	教科書……特になし、プリント配布 参考書……特になし		
評 価 の 法	試験・受講態度・出席状況による総合評価		

科 目	保育者論	講 師	平岩 由美子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育者の制度的に位置づけられた役割・職務を自覚する ・保育者の専門性について考察し、理解する ・保育者の協働について理解する ・保育者の専門職的成長について理解する ・保育者に求められる倫理・責任について学び、自己を振り返りながら保育者として成長しようとする姿勢や使命感を持って保育をしようとする態度を養う 		
授 業 の 画	1. オリエンテーション 2. 保育者の仕事における〈見えやすい専門性〉と〈見えにくい専門性〉 3. 保育者の倫理観 保育者が醸し出す〈倫理的雰囲気〉と子どもへの影響 4. 保育者の専門性① 養護と教育を一体的に行う保育 5. 保育者の専門性② 子どもの思いや育ちを理解して援助する役割 6. 保育者の専門性③ 保育記録と省察の意味 7. 保育者の専門性④ 映像教材による保育の省察 8. 保育者の専門性⑤ 豊かで主体的な子どもの生活を創り出す環境を構成する役割 9. 保育者の専門性⑥ 保育技術体験演習 10. 保育者の協働① グループワーク演習発表 11. 保育者の協働② 子育てのパートナーとしての役割 12. 保育者の協働③ 保育者同士の保育カンファレンスによる学び合い 13. 保育者の専門職的成長① 保育者の専門性を向上させるために（自己課題研究準備） 14. 保育者の専門職的成長② 自己課題研究発表 15. 保育者の専門職的成長③ 自己課題研究発表		
教科書 及び 参考書	教科書……『保育者論』 汐見稔幸・大豆生田啓友編 ミネルヴァ書房 『保育所保育指針』 参考書……特に指定なし 毎回プリントを配布		
評 価 の 法	出席状況、受講態度、課題提出、発表、テスト等による総合評価		

科 目	家庭支援論	講 師	前川 洋子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育士が家庭支援を担う意義と役割について理解する。 ・現代の子育て家庭について理解する。 ・支援の必要な家庭を理解し、その支援を考える。 ・児童福祉施設における家庭支援について理解する。 ・家庭支援に関わる関係機関を知り、保育士の関わり方を考える。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 家庭の意義と機能 家庭支援の必要性 2. 家庭支援の必要性 子どもが育つ場としての家庭 3. 保育者が行う家庭支援の原理 4. 現代家族の人間関係と子育て 5. 現代の地域社会の変容と家庭支援 6. 男女共同参画社会とワークライフバランス 7. 子育て支援施策・次世代育成支援施策の推進 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 8. 子育て支援サービスの概要 9. 子育て家庭の福祉を図るための社会資源 10. 家庭と保育者の連携とパートナーシップ 11. 地域の関係機関との協働と連携 12. 保育所入所児童の家庭への支援 13. 地域の子育て支援家庭への支援 14. 特別な対応を要する家庭への支援 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……コンパクト版保育者養成シリーズ『家庭支援論』谷田貝公昭（監修） 一藝社 2018.2 参考書 ……『実践 家庭支援論』松本園子（編） ななみ書房 2017.1		
評 価 の 方 法	出席・レポート・平常点（50％）＋試験（50％）による総合評価		

科 目	保育内容演習・健康	講 師	松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの心身の発達について、知識を得、健康に関する理解を深める。 ・自分が常に保育の現場に立った時を想定し、健康とは何かを理解し実践力を身に付ける。 ・保育者として実践的アイデア・工夫を生み出し、基礎を作る。 ・幼児自身に安全に対する意識を形成するための指導法を学び考える。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 子どもの健康について 3. 領域「健康」のねらいとは 4. 領域「健康」の内容とは① 5. " ② 6. 他の領域との関係 7. 子どもの遊びとは 8. 子どもの心身の発達について① 9. " ② 10. 子どもの安全・健康に対する管理と教育 11. 基本的生活習慣・・・・・・・・① 12. " ② 13. " ③ 14. 子どもの遊びの大切さと子どもとの関わり 15. 試験 <p style="text-align: right;">※授業の内容は進み具合によって変更する場合があります。</p>		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、レポート、ミニテストによる総合評価		

科 目	保育内容演習・人間関係	講 師	齋藤 三喜子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・領域「人間関係」のねらいと内容を理解し、その「ねらい」を達成するための保育者の具体的な援助について学ぶ。 ・乳幼児期の自己の発達、他者との関係の発達を理解する。 ・様々な事例を考察し、子どもの心に寄り添う保育者としての役割等について理解する。 ・保育を取り巻く人間関係（保護者との人間関係、保育者同士の人間関係、小学校との連携）について理解を深める。 ※実践的授業を目指しますので、積極的に取り組んで下さい。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション（講義の概要とねらい） 2. 領域「人間関係」の基礎知識 3. 人とのかかわりを培う保育の基本 4. コミュニケーションゲーム① 5. 乳幼児期の発達段階① 6. 乳幼児期の発達段階② 7. 育ちに応じたかかわりと援助① 8. 育ちに応じたかかわりと援助② 9. 育ちに応じたかかわりと援助③ 10. 気になる子どもの人間関係づくりと援助① 11. 気になる子どもの人間関係づくりと援助② 12. コミュニケーションゲーム② 13. 保護者との関係づくりと地域との連携 14. 職場の人間関係・保育者同士の人間関係 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『事例と図解で学ぶ保育実践 子どもの心の育ちと人間関係』保育出版社 参考書 ……『0歳～6歳 子どもの社会性の発達と保育の本』学研		
評 価 の 法	出席状況、受講態度、発表、試験等による総合評価		

科 目	保育内容演習・環境	講 師	中村 美奈子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・保育所保育指針に基づき、保育内容に示される「環境」の領域において育むものについて理解する。 ・人、もの、場などが相互に関連し、子どもの生活を豊かにする環境構成を理解する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. ガイダンス 2. 心にのこる遊びとは 3. 「環境」に関わる現代社会の状況 4. 保育内容に示される「環境」の領域において育むもの 5. 保育における「環境」の大切さ 6. 好奇心、探究心を育てる環境 7. 物的環境としての園具、遊具、素材 8. 人的環境としての友だち、保育者 9. 自然環境 10. 社会環境 11. 地域、行事に関わる保育的意義 12. ねらいを達成するために保育者が行う具体的事項① 13. ねらいを達成するために保育者が行う具体的事項② 14. 試験 15. まとめ ※内容は授業の進み具合によって変更することもあります 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『保育所保育指針解説書』、『養護と教育が一体となった保育の言語化』全国社会福祉協議会、授業内で配布したプリントはまとめておく 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席状況、授業態度を重視し、課題提出、試験などによる総合評価		

科 目	保育内容演習・言葉	講 師	中山 佳寿子
授業目標	1. 言葉の獲得に関する領域「言葉」において目指されている事項を理解する。 2. 子どもの言葉の発達過程を理解する。 3. 領域「言葉」のねらいをどのように達成していくか、具体的かつ実践的に学習する。 4. 素話・絵本・表現遊び等を行ない、保育の中での生かし方を学ぶ 5. 表現教育の手法「ドラマ」を用いた遊びを習得し、子どもの創造性・表現性を引き出す保育について理解する。		
授 業 の 画	1. 授業のねらい及び内容 言葉の発達過程0歳～6歳 活動：子どもの言葉を育むドラマの手法① 2. 乳幼児期の発達と領域「言葉」（教科書第2章） 活動：子どもの言葉を育むドラマの手法② 3. 信頼関係から生み出される言葉(教科書第3章)／絵本について(講義：昔話・絵本に見られる物語構造) 4. 自分の考えや思いを伝えることば(教科書第4章)／活動：絵本の読み聞かせ① 5. 感情体験と言葉(教科書第5章)／活動：絵本の読み聞かせ② 6. 「いま、ここ」を超えて広がる世界と言葉(教科書第6章)／活動：絵本を紹介しあう(保育場面を想定して) 7. ごっこ遊びとことば(教科書第7章)／活動：素話を演じる① 8. 子どもを取り巻く現代的課題(教科書第8章)／活動：素話を演じる② 9. 絵本を作ろう① 活動：子どもの言葉を育むドラマの手法③ 10. 絵本を作ろう② 活動：絵本を発表しあう 11. ごっこ遊びの展開①(「おみせやさんごっこ」イベントの指導計画を作成する) 12. ごっこ遊びの展開②(絵本を用いた数回に渡るごっこ遊びを考案し、指導計画を作成する) 13. ごっこ遊びの展開③ ②で作成した指導計画の一部で模擬保育を行なう 活動：模擬保育と話し合い 14. 発表：「子どもの言葉を豊かに育むために必要なものとは？」 15. 学習の振り返り		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『事例で学ぶ保育内容 領域言葉』 無藤 隆：監修 出版：萌文書林 参考書 ……『保育所保育指針』『幼稚園教育要領』		
評 価 の 方 法	出席、授業態度を重視し、提出物、試験等による総合評価		

科 目	保育内容演習・表現	講 師	二木 秀幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・表現の研究を軸に、子どもの表現の育ちと保育者の役割について学ぶ。 ・あそびの中から表現する術を理解できる。 ・さまざまな実践課題を通して、表現活動に必要な技術を身につける。 ・子どもの表現活動に対する指導方法を習得する。 		
授 業 の 画	1. オリエンテーション 授業内容とポイントの解説／“表現”とは 2. 子どものうた(1) いろいろな歌をうたう(手あそび・歌あそび) 3. 子どものうた(2) 保育における歌を考える・子どもへの歌の指導法について／まとめ 4. 様々な素材を使った表現(1) 詩を素材としてあそぶ(グループワーク) 5. 様々な素材を使った表現(2) 詩を題材とした創作(グループワーク) 6. 様々な素材を使った表現(3) 詩を題材とした創作作品の発表/まとめ 7. 様々な素材を使った表現(4) 絵本を素材としてあそぶ(グループワーク) 8. 様々な素材を使った表現(5) ミュージカル作品を素材としてあそぶ(グループワーク) 9. 様々な素材を使った表現(6) ミュージカル作品を題材とした創作(グループワーク) 10. 様々な素材を使った表現(7) ミュージカル作品を題材とした創作作品の発表/まとめ 11. 総合的な表現/保育ごっこ“ごっこあそび”“劇あそび・劇”を考える 12. 様々な表現を織り交ぜた作品の創作(1) 素材の研究・準備(グループワーク) 13. 様々な表現を織り交ぜた作品の創作(2) リハーサル(グループワーク) 14. 様々な表現を織り交ぜた作品の創作(3) 発表会 15. 振り返りと総まとめ/表現活動の指導方法		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『5訂版 歌はともだち』教育芸術社 参考書 ……『改訂 ポケットいっぱいのおうた』など音楽等の授業で使用している歌の本		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、レポート及び発表等による総合評価 ※動きやすい服装・靴で履修のこと(必須)		

科 目	障害児保育	講 師	恵良 具子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の役割の1つとして大きく期待されている精神発達遅滞と発達障害について重点的に学ぶ ・ 各障害の正しい知識の獲得と障害の状態像を理解することを目指す ・ 発達の生理的未成熟期にある中でいわゆるグレーゾーン児への対処と対応を学ぶ ・ 適応に困難を抱えている子どもの気持ちを汲み取る力とその子のニーズを探る力を養う ・ グループ学習を通して他者の考えや意見を理解しかつ自分の意見を表現する力を培う 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 多種多様な障害とその分類 2. 精神発達遅滞の定義と特徴 3. 精神発達遅滞児の状態像と子どもの気持ちの汲み取り及びニーズの読み取り 4. 精神発達遅滞児への支援と留意点 5. 自閉症の基本的知識と理解 6. 自閉症児の状態像とその理解 7. 自閉症児への支援と留意点 8. ADHDの基本的知識と理解 9. ADHD児の状態像の理解と保育の要点(I) 10. ADHD児の状態像の理解と保育の要点(II) 11. ADHD児の事例検討 12. 感覚異常の状態像の理解 13. 発達障害と感覚異常の関連 14. 感覚統合をすすめる遊び 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……『障害児保育…子どもとともに成長する保育者を目指して…』萌文書林 参考書 ……『実践に生かす 障害児保育』萌文書林		
評 価 の 方 法	授業への参加度、試験による総合評価		

科 目	保育相談支援	講 師	荒谷 純子
授業目標	保育者として、保育相談支援の必要性を理解し、支援について学ぶ。 <ol style="list-style-type: none"> 1. 保育相談支援の意義と原則を学ぶ 2. 保育者の専門性を生かした支援の進め方を学ぶ 3. 支援に必要な相談技法を習得する 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 保育相談支援とは 3. 保育相談支援の対象を理解する 4. 家族が抱える問題への理解① 5. 家族が抱える問題への理解② 6. 支援の進め方① 7. 支援の進め方② 8. 支援の進め方③ 9. 相談支援の技法 演習① 10. 相談支援の技法 演習② 11. 保育所、幼稚園以外での保育相談支援とは 12. 事例検討① 13. 事例検討② 14. まとめ 15. 試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特になし 参考書 ……特になし		
評 価 の 方 法	試験・受講態度・出席状況による総合評価		

科 目	保育実践演習	講 師	富金原 光秀
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育実践における現代の問題意識を持ち、解決に至る為の方法について調査及び研究発表を行う。具体的な課題に対して複眼的に思考し意欲を持って取り組む態度を養う。 ・ 個別指導を交えながら、主題の設定、資料・情報の収集、論点整理、中間報告、口頭発表について順次行う。 ・ 議論や討論を重ねて、他者を尊重するとともに論理的思考力を身につける。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育を取り巻く現状認識と問題関心の理解 2. 主題の設定 ～テーマを絞り込む～ 3. 情報及び資料の収集と整理 4. 調査研究・情報の分析 5. 中間報告に向けての個別指導 6. 自己課題についてのブレインストーミング 7. 中間報告及びディスカッション① 8. 中間報告及びディスカッション② 9. 中間発表の点検、評価、改善 10. 論点整理と情報、資料の再収集 11. 研究発表の為の個別指導① 12. 研究発表の為の個別指導② 13. 発表及びディスカッション① 14. 発表及びディスカッション② 15. まとめ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 授業中に適宜資料を配布 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、発表の際の表現力、論理的思考力、提出物		

科 目	教育史	講 師	相田 まり
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 過去の教育思想をその社会背景と併せて理解することで、今日の教育がいかにしてつくり上げられてきたのか、そこにはどのような課題があるのかを把握する。 ・ 授業の中で得た知識や考え方をもとに、日々の保育・教育実践について自分なりに考察できるようになる。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. イントロダクション：なぜ教育史を学ぶのか 2. 古代ギリシアから中世まで：哲学的伝統の誕生と確立、西洋の学問とキリスト教 3. 近代の幕開けと「子ども」の発見：コメニウス、ロック、ルソー 4. 「自己形成」の援助としての教育：ペスタロッチの「メトード」とフレーベルの幼稚園教育学 5. 世界新教育運動：子ども中心主義 6. 日本の近世・近代の教育：江戸時代の学問と西洋思想との出会い 7. 大正新教育：子どもの「自由」を育てる取り組みと新学校 8. 戦時下の教育：国民学校と総力戦体制 9. 日本の戦後教育①：民主化への歩みと「社会科」の誕生 10. 日本の戦後教育②：高度経済成長と「道徳」教育 11. 現代の教育①：グローバル社会における教育 12. 現代の教育②：正解のない問いと向き合う 13. 現代の教育③：「みんなちがって、みんないい」をどうやって教えるか 14. 現代の教育④：そもそも「学校」じゃなきゃだめなのか 15. これからの教育：何が一番大切か 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特になし 参考書 ……適宜指示する		
評 価 の 方 法	出席状況、受講態度、レポート提出を踏まえて総合的に評価する。		

科 目	保育臨床心理学	講 師	井上 恵理
授業目標	以下3点を授業目標とする ・自分の内面に目を向けたり、ときには自分を表現するワークを行ったりすることを通して自己理解と他者理解を深める ・子どもの「心」の世界について学び、理解を深める ・子どもの心の問題への関わり方や、家庭への支援方法について考える		
授 業 の 画	1. オリエンテーション 2. 臨床心理学について 3. 性格と知能 4. 適応と不適応 5. 親子・家族・仲間 6. 子どもの心の問題と理解(1) 7. 子どもの心の問題と理解(2) 8. 子どもの心の問題と理解(3) 9. 大人の心の問題と理解(1) 10. 大人の心の問題と理解(2) 11. 保育現場における子育て支援 12. 他機関連携による支援 13. 自分自身の理解とケア 14. まとめ 15. 試験		
教科書 及び 参考書	教科書……使用しない 参考書……特に指定なし		
評 価 の 法	出席状況、授業態度、提出物、試験などによる総合評価		

科 目	子どもの食と栄養実習	講 師	深川 卯子
授業目標	1. 食育の基本とその内容及び食育のための環境を地域社会のかかわりの中で理解する。 2. 食品と栄養との関係を献立作成を行うことで理解する。 3. 実習を通して調理と幼児の食に対して理解を深める。 4. 小児の成長過程と離乳食、幼児食を実際に作って理解する。 5. 食事と生育、食育の実際の進め方など実行できるように学ぶ。		
授 業 の 画	1. 幼児期の栄養と保育所の食事の役割 2. 保育所の食事基準・目標・食育のめざすもの 3. 調乳の実際と注意点(実習室) 4. 離乳食の献立で栄養計算をする 5. 幼児食の献立から離乳食への展開(実習1) 6. 幼児食の献立を作成する 7. 栄養計算などを通して献立の評価をしてみる 8. 作成した献立を実際に作る(実習2) 9. 幼児のおやつ(軽食)について・クッキング保育を想定して計画書作成 10. 計画書に基づいておやつを作る(実習3) 11. 作成した計画書と作ったものについて班ごとに発表する 12. お弁当の献立を作る(栄養計算も) 13. お弁当を作る(実習4) 14. まとめ、現在の食生活の問題点(実習から学んだことを含む) 15. テスト		
教科書 及び 参考書	教科書……『初めての食品成分表』女子栄養大学出版部 参考書……1年次使用の教科書→『発育期の食生活と栄養』		
評 価 の 法	出席、実習時の提出物、テストによる総合評価		

科 目	児童文化	講 師	近藤 千春
授業目標	1. 子どもの遊びや楽しみの中に存在する、モノ・メディア・スペース等を包括的に捉える概念として「児童文化」をとらえ、子どもの発達におけるその意味や役割を理解する。 2. 人が育ち育てられる為に子どもと大人が創り遊び継いできた伝承遊びと子育て文化。その知恵と愛情の結晶の遊びを自ら楽しむことによって、魅力と底力を体得し、現場での実践力を身につける。 3. 楽しく質の高い児童文化財は子どもを深く満足させ、その育ちをより豊かに支えていく。心地良く文化的な時間を共有し、楽しみ合える保育者を目指したい。		
授 業 の 画 計	1. 児童文化とは何か① 体験しよう・おはなし会・子どもの生活世界と文化の関わり 2. 児童文化とは何か② 子ども観の変容・保育の歴史の中で 3. 子どもの発達段階に沿った心のごはん・様々な児童文化財を楽しむ① } わらべうた 4. " ② } (あやし歌・集 5. " ③ } 団遊び)・紙芝居 6. " ④ } 手遊び・絵本 7. " ⑤ } 昔話の語り 8. " ⑥ } おはなし遊び 9. " ⑦ } あやとり・お手玉 など 10. 「実践と発表」① 11. " ② 12. " ③ 13. " ④ 14. " ⑤ 15. まとめとふりかえり		
教科書 及び 参考書	教科書……『藤田浩子のわらべうたあそび このゆびとーまれ』藤田浩子編著 参考書……『ことばと表現力を育む児童文化』川勝泰介他編著 他、資料プリントを配布する		
評価の 方 法	出席重視。受講態度、実践や課題レポートに取り組む姿勢など、総合的に評価します。		

科 目	保育あそび論	講 師	菊地 政隆
授業目標	保育では5領域が小学校の教科のように分断されて行われるのではなく、子どもたちが園で繰り返して日々の生活や遊びの中に各領域の側面が埋め込まれている。そのため発達と5領域のかかわりを見据えながら総合的に保育を理解することが保育者に求められる。本講義では現場の園長である強みを活かし、毎回実践事例や保育実技を織り込みながら保育内容を総合的に捉える視点を養っていくとともに保育を展開していくための保育者としての資質と指導法を身につけることを目的とする。さらにゲストスピーカーを招聘し様々な角度から保育を考える視野を広げ、毎日の保育に必要なスキルを養う訓練をすることで即戦力として現場で活躍できる技術と志向が身につけることができる。		
授 業 の 画 計	1. はじめに（プロローグ、自己紹介、授業の進め方、保育とは） 2. 遊び①（手遊び①基本編）、連絡帳が書けるようになるスキル 3. 遊び②（手遊び②基本編）、連絡帳が書けるようになるスキル 4. ゲストスピーカーによる現場での話し 5. 遊び③（手遊び③基本編）、連絡帳が書けるようになるスキル 6. 遊び④（手遊び④基本編）、連絡帳が書けるようになるスキル 7. 遊び⑤（手遊び⑤発展編）、子どもを見る視野が広がるスキル 8. 遊び⑥（手遊び⑥発展編）、子どもを見る視野が広がるスキル 9. 遊び⑦（遊びの理論と組遊び）、子どもを見る視野が広がるスキル 10. 遊び⑧（遊びの理論と組遊び）、保護者対応が上手くなるスキル 11. 遊び⑨（遊びの理論と組遊び）、保護者対応が上手くなるスキル 12. ゲストスピーカーによる現場での話し 13. ゲストスピーカーによる現場での話し 14. 保育とは（TBS情熱大陸を鑑賞し保育を考える）、保育を楽しむためのスキル 15. まとめ（保育ソング）		
教科書 及び 参考書	教科書……特になし、毎回プリントを配布します。 参考書……授業ごとに紹介します		
評価の 方 法	授業姿勢・実演での総合評価 講義の出席回数を最大限に評価いたします。		

保育福祉科
トワイライトクラス
2年次

科 目	絵画造形技法	講 師	なかむら しんいちろう
授業目標	<p>造形Ⅰ・Ⅱで学んだ基礎力を活かし、多種多様な道具材料を工夫して課題制作を行い造形への理解を深め、表現の幅を広げる。</p> <p>幼児造形の特徴を踏まえ、遊びのなかでの造形活動をのびのびと自由に追体験する。</p> <p>また自らの絵画表現における造形感、応用力を養う。さらに将来の現場指導で実践可能な制作を行い、自信を持って実習に向かえるように準備する。</p> <p>* 制作の進行状況を考慮し順序や内容を適宜変更する。</p>		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 折り紙の花工作（紙皿）。造形表現のウォーミングアップ。押し花の台紙制作。 2. 野外授業。素材集め、草花のワンピース制作。押し花制作。 3. フリスビーと輪投げ制作（紙皿） 4. 円盤飛ばし遊びと的の制作（紙皿、紙コップ） 5. 積み木遊び、ぴよんぴよんガエル、指人形、ミミンガ制作（紙コップ、輪ゴム） 6. 海の生き物工作：タコ、イカ、クラゲ、魚（紙コップ、紙皿、スズランテープ、シール） 7. テルテル坊主工作（レジ袋、マスキングテープ） 8. 虫制作：カタツムリ、不思議な虫（モール、段ボール） 9. 音の出るおもちゃ工作：笛、吹き矢制作、くるくる回る人形制作（ストロー） 10. 紙皿シアター1：アイデア出しと下絵、水描き1 11. 紙皿シアター2：水描き2、発表 12. 基本の造形道具研究：ハサミ、ノリ、テープ 13. 簡単オリジナルミニ絵本制作（消しゴムスタンプ） 14. ノートまとめ1、三角パズルの絵画制作 15. ノートまとめ2、授業内のノート提出 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……特に指定なし</p>		
評 価 の 方 法	<p>総合的評価。特に授業態度を重視（授業内での作品の完成度。制作に対する意欲と真摯な姿勢、適切な片付け、出席状況）及びまとめノート提出必須。</p>		

科 目	保育表現技術・幼児体育Ⅱ	講 師	平塚 卓也
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児体育Ⅰで学習した内容を発展させ、実践を通しての学習を行う。 ・ 幼児期の運動あそびの指導法を学習する。 ・ 用具の管理・安全に指導するための留意点を学習する。 ・ 運動あそびの指導案を作成し、実践する。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション・運動指導の理論 2. ボールあそび 3. フラフーフ遊び・縄あそび 4. マットあそび 5. 跳び箱あそび 6. 平均台あそび・鉄棒あそび 7. 表現あそび 8. 運動会 9. 指導案の作成① 10. 指導案の作成② 11. 模擬実践① 12. 模擬実践② 13. 模擬実践③ 14. 模擬実践④ 15. 模擬実践の振り返り・まとめ 		
教科書 及び 参考書	<p>教科書……特に指定なし</p> <p>参考書……日本幼児体育学会認定 幼児体育指導員養成テキスト 幼児体育—理論と実践— [初級] 第5版、大学教育出版</p>		
評 価 の 方 法	<p>出席、受講態度、レポートによって評価する。</p>		

科 目	保育表現技術・ピアノⅢ	講 師	石田 延江・金淵 洋子・国友 真智子 鍋島 久美子・福田 由子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ピアノの基礎演奏技術を学ぶ（バイエル96番程度）。 ・童謡を楽しく弾き歌いできるようになる。 ・実習に向けて、生活の歌や童謡のレパートリーを増やす。 ・ピアノ練習を毎日の生活の中で確保できるよう努力する。 		
授業の 計 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション：各自のレベルの把握と課題の決定 2. 個人レッスン 3. 〃 4. 〃 5. 〃 6. 〃 7. 〃 8. 〃 9. 〃 10. 〃 11. 〃 12. 〃 13. 〃 14. 〃 ：実技試験発表曲の徹底練習 15. 実技試験 		
教科書 及び 参考書	教科書 …… 1年次に購入したもの 参考書 …… 『始めよう！弾き歌い』 及び担当講師の指定するもの		
評価の 方 法	受講態度、出席状況、実技試験等による総合評価		

科 目	保育表現技術・声楽	講 師	木下 裕子			
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数々の子どもの歌を通して、歌う事の楽しさを自ら体験出来るよう練習します。 ・正しい呼吸法、発声法を身につけていきます。 ・音程、リズムのとり方を学んでいきます。 ・ハーモニーの体験から、同時に響く相手の声を聞く感覚を養います。 ・歌唱指導法を学んでいきます。 					
授業の 計 画	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> <ol style="list-style-type: none"> 1. 歌の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top; text-align: center;"> 子どもの歌の歌唱練習 ↓ テスト 課題曲の発表とその練習 ↓ 期末テスト テストについての所見とレベルアップへの方法 </td> <td style="width: 33%; vertical-align: top;"> ソルフエージュ ↓ </td> </tr> </table>			<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ 	子どもの歌の歌唱練習 ↓ テスト 課題曲の発表とその練習 ↓ 期末テスト テストについての所見とレベルアップへの方法	ソルフエージュ ↓
<ol style="list-style-type: none"> 1. 歌の為の易しい 2. ストレッチと呼吸法 3. ヴォイストレーニング 4. ↓ 5. ↓ 6. ↓ 7. ↓ 8. ↓ 9. ↓ 10. ↓ 11. ↓ 12. ↓ 13. ↓ 14. ↓ 15. ↓ 	子どもの歌の歌唱練習 ↓ テスト 課題曲の発表とその練習 ↓ 期末テスト テストについての所見とレベルアップへの方法	ソルフエージュ ↓				
教科書 及び 参考書	教科書 …… 『ポケットいっぱいのおうた』 教育芸術社 参考書 …… 特に指定なし					
評価の 方 法	実技試験と受講態度、出席による総合評価					

科 目	保育実習指導Ⅱ	講 師	鈴木 八重子
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所実習Ⅰaを振り返り、評価・反省に基づき、課題を理解する。 ・ 保育所実習Ⅱに向けて、目的意識・問題意識を明らかにする。 ・ 保育所、保育士の役割について理解を深め、実践する。 ・ 保育教材の制作・発表を通じ、指導案を立案し実践し評価を行う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保育所実習Ⅰを振り返る(1) 2. 保育所実習Ⅰを振り返る(2) 3. 実習課題の設定 4. 責任実習指導計画案の事例検討と立案 5. 指導計画案の作成・模擬実践と振り返り(1) 6. 指導計画案の作成・模擬実践と振り返り(2) 7. 指導計画案の作成・模擬実践と振り返り(3) 8. 指導計画案の作成・模擬実践と振り返り(4) 9. 指導計画案の作成・模擬実践と振り返り(5) 10. 指導計画案の作成・模擬実践と振り返り(6) 11. 模擬実践の相互評価・改善(1) 12. 模擬実践の相互評価・改善(2) 13. 責任実習指導計画案の作成(1) 14. 責任実習指導計画案の作成(2) 15. 試験 ※随時、漢字テスト、保育者としての常識などを問う小テストを実施する 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……授業内で配布したプリントはまとめておくこと 参考書 ……授業内で配布したプリントはまとめておくこと		
評 価 の 法	出席状況（無断欠席不可）、授業態度、提出物、発表等による総合評価		

科 目	保育実習指導Ⅲ	講 師	東郷 結香
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1年次で経験した保育所実習、施設実習の振り返りと反省をし、次回の実習に向け課題を明確にする。 ・ 保育所実習、施設実習で記録した日誌の分析と記入について再度考察し実践につなぐ。 ・ 2年次の施設実習に向け個別支援計画、指導計画の立案、保育技術、保育知識の見直し、向上に一人ひとり問題意識を持ち意欲的に学び実践につなぐ。 ・ 施設における保育者の役割、さらには保育者の専門性について課題を明確にして実習に臨む。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション、授業の進め方 2. 保育所実習・施設実習の振り返り① 3. 保育所実習・施設実習の振り返り② 4. 保育所実習・施設実習から見えた課題の明確化① 5. 保育所実習・施設実習から見えた課題の明確化② 6. 実習日誌の分析 7. 実習日誌の書き方 8. 施設実習に向けての観察の視点を明確にする 9. 施設実習における保育者の専門性を考える 10. 個別支援計画と指導計画の作成 11. 個人票の作成① 12. 個人票の作成② 13. 実習課題の作成① 14. 実習課題の作成② 15. 実習に向けてのまとめ、直前指導 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……授業時に適宜プリントを配布 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	平常点、授業態度、提出物、実技発表などの総合評価		

科 目	キャリアデザイン	講 師	井守 知義
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に向けて、基本的なスキルを身に着ける ・これまでの学びと実習経験から就職先（保育所、施設等）の絞り込みをする ・公務員試験対策を万全にする 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 進路指導のガイダンス。作文「学校生活を振り返って」 2. 自己PRについて。キャリアカードの更新。就職希望調査。 3. 就職ガイダンス①（就職に向けて、キャリアデザインセンターの利活用、ビジネスマナー等） 4. 就職ガイダンス②（公共機関の利活用、就職フェアについて、求人票の見方等） 5. キャリアモデルから学ぶ（卒業生を招いての懇談会） 6. 人事採用担当者から学ぶ企業研究① 7. 人事採用担当者から学ぶ企業研究② 8. 人事採用担当者から学ぶ企業研究③ 9. 面接試験に向けての心構え（入退出、自己紹介、服装、面接等） 10. 自己アピールワークシート作成 11. 個人面談・模擬面接① 12. 個人面談・模擬面接② 13. 個人面談・模擬面接③ 14. 個人面談・模擬面接④ 15. 個人面談・模擬面接⑤ 		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席率、提出物、受講態度により評価します		

科 目	クラスルームⅡ	講 師	松森 照幸
授業目標	<ul style="list-style-type: none"> ・安定した学校生活を送る上で、必要な留意事項について理解する。 ・クラス活動を通して、保育者に必要とされるコミュニケーション力、自主性、協調性、責任感、協働の態度等の資質を養う。 		
授 業 の 画	<ol style="list-style-type: none"> 1. オリエンテーション 2. 個別面談・グループワーク 3. 個別面談・グループワーク 4. 個別面談・グループワーク 5. 個別面談・グループワーク 6. 個別面談・グループワーク 7. チャイルド祭について 8. 振り返り・後期の学校生活に向けて 9. クラス活動 10. クラス活動 11. クラス活動 12. クラス活動 13. クラス活動 14. クラス活動 15. 振り返り・卒業後に向けて <p style="margin-left: 150px;">} 学校行事等の企画や準備・グループワーク</p>		
教科書 及び 参考書	教科書 ……特に指定なし 参考書 ……特に指定なし		
評 価 の 法	出席状況による評価		